



# 受験志願者情報ガイド

*IBCLC 資格試験を受験しようとする初回認定、再認定、資格喪失者向け*

国際的組織である IBLCE は出版物にイギリス英語を使用しています

## もくじ

IBLCE とは？ .....	5
連絡先.....	5
重要な日程.....	5
認定の目的.....	5
IBCLC 受験資格の必要条件.....	6
健康科学科目教育 .....	6
母乳育児に関する専門教育 .....	7
母乳育に特化した実地経験 .....	7
IBCLC の職業倫理規範の遵守.....	7
受験のための志願条件.....	7
志願条件 1：認定された保健医療専門家と母乳育児支援カウンセラー .....	8
志願条件 2：公認の授乳に関する学校/大学のプログラム .....	8
志願条件 3：IBCLC 指導者について学ぶコース .....	9
受験者のための重要な出版物.....	10
志願条件を選ぶ .....	10
オンライン願書の記入 .....	10
受験料と支払い .....	10
IBCLC 試験の概要 .....	11
試験場所 .....	11
試験の機密性保護およびインシデント評価に関する規則 .....	11
個人的配慮が必要な方へ .....	11
妊娠中の志願者へ .....	12
試験中の授乳時間 .....	12
母国語でない言語 .....	12
機密保持ポリシー.....	12
1. 機密保持の遵守.....	12
2. 試験結果.....	13
3. 申請状況.....	13
4. 資格証明.....	13
5. 非同定データ .....	13
6. 志願者.....	13
初回受験者および再認定監査ポリシー.....	14
受験資格についての注意事項.....	14
受験資格および再認定決定抗議ポリシー.....	14
受験取り下げ/キャンセル .....	15

受験再予約ポリシー.....	15
受験会場への入場の手順 および志願者の行動.....	15
試験結果の通知.....	17
手作業による採点の要求に関するポリシー.....	18
試験結果の抗議.....	18
再受験ポリシー.....	18
IBCLC 登録簿.....	19
反差別方針.....	19
IBCLC 商標の使用方針.....	19
志願条件チェックリスト（無作為に監査対象に選ばれた場合）.....	19
志願条件 1：認定された保健医療専門家と母乳育児支援カウンセラー.....	19
志願条件 2：公認の学校/大学のプログラム.....	20
志願条件 3：IBCLC 指導者について学ぶコース.....	20
2019 年 IBLCE 認定受験料一覧表.....	22
IBCLC Detailed Content Outline（IBCLC の試験内容概要）.....	25



## IBLCE とは？

IBLCE®、または ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会®は、国際認定ラクテーション・コンサルタント (IBCLC®) 資格の独立した国際的な資格試験評議団体です。

## 連絡先

International Board of Lactation Consultant Examiners (IBLCE)

10301 Democracy Lane, Suite 400

Fairfax, VA 22030-2545

USA

Phone: +1 703-560-7330

Fax: +1 703-560-7332

[www.iblce.org](http://www.iblce.org)

IBLCE 事務所はオーストリア、オーストラリア、アメリカ合衆国にあります。志願者は、IBLCE ウェブサイトの連絡先情報を使用して、居住国を管轄する地域事務所を探せます。

## 重要な日程

IBLCE ウェブサイトにて、申請締め切り日やその他の重要な日程についてご確認ください。

## 認定の目的

目的：IBCLC 認定の目的は、効果的な実践をするため基本レベルの基準を満たす個人を評価し、それにより人々の保護を促進することです。

認定される人：IBCLC は、母乳育児の管理とケアの知識と専門知識を持った資格を取得・維持する医療チームの専門家です。当資格の保持者は、規定された資格要件を満たし、厳密で精神的に健全な試験に合格しています。1985 年以来、IBCLC の資格は、IBCLC が実践者として以下のような必要な知識を持っていることを証明しています。

- ・世界の公衆衛生上の必要性としての母乳育児の提唱と教育
- ・地域から政策立案者まで、社会におけるリーダーシップの発揮
- ・母乳育児を支援する環境の整備
- ・家族のための最適な母乳育児体験の促進
- ・授乳に関する重大な課題の特定および解決

IBCLC は、個人的にもしくは協力して母親、子供そして家族の母乳育児におけるゴール達成

に向けた支援を行います。

認定マークの発行：国際認定ラクテーション・コンサルタント (International Board Certified Lactation Consultant®) に発行される認定証は、International Board Certified Lactation Consultant® および略式の IBCLC® です。

IBCLC の認定プログラムは任意の資格証明書を提供しますが、その認定が必ずしも実践する権利もしくは特権を付与するわけではありません。IBCLC 資格保持者は、実践を行っている地域、または実践を希望する地域を管轄する法的権限を遵守しなければなりません。志願者は本ガイドに記載されている適格要件を満たさなければならず、*Code of Professional Conduct for IBCLCs* (IBCLC の職業倫理規範) を遵守しなければなりません。また、IBCLC 資格を取得するためには、試験に合格しなければなりません。

IBCLC 資格を維持するためには、5 年ごとに再認定を受ける必要があります。試験に合格してから 5 年後には IBCLC 認定者は再認定を受けるために 75 単位の継続教育認定単位 (CERPs) か、それに相当する個人継続教育認定単位 (CERPs) を修了するか、再試験を受験するか選択ができます。

また最後に試験に合格してから 10 年以内に再試験を受けることが義務づけられています。

認定を喪失した場合は、有効期限終了後 1 年以内の 1 回の受験には必要とされる実践時間や継続教育単位がなくても試験を受けることができますが、受験料は全額支払わなくてはなりません。

その後の受験について IBCLC 認定喪失者は受験願書を提出する時点で有効な、初回受験者に適用される必要条件に合致していません。

## IBCLC 受験資格の必要条件

IBCLC 申請者は、選択した志願条件に関係なく、以下の IBCLC 資格要件を満たす必要があります。

### 健康科学科目教育

一般的に保健医療専門家が、専門教育の中で履修する健康科学科目の教育を受けていること。

志願者は *Health Sciences Education Guide* (健康科学科目教育ガイド) に記載されている 14 科目を修了しなければなりません。*Recognised Health profession List* (保健医療専門家リスト) の職業の 1 つで教育を受けている場合は、本必要条件を満たします。もしくは、政府認定の臨床医療専門家であることを証明する書類を提出できる場合も、本必要条件を満たします。

## 母乳育児に関する専門教育

ヒトの母乳分泌と母乳育児に関する包括的な教育は、IBCLC になるための準備の主要な部分です。教育は、*IBCLC Detailed Content Outline* (IBCLC としての試験内容概要) に記載されている分野や期間を網羅していることが推奨されます。

IBLCE は、認定試験用の母乳育児教育の提供、承認、または認定はしません。また、特定の母乳育児に関する専門教育のプログラムやコースを推薦することなどもしません。

## 母乳育に特化した実地経験

志願者は、母乳育児に関連した実地経験を完了していなければなりません。実地スキルは、ラクテーション・コンサルタントとして活躍するための主な知識であり、重要な技術です。

母乳育児相談の実地経験とは、母乳育児中の家族を支援するケアを母親と子どもに提供することであり、妊娠中や授乳中の女性に対する母乳育児支援や、家族や専門家に対する母乳分泌に関する教育も含まれます。

報告される母乳育児相談の実地経験はすべて監視下で行われたものでなくてはなりません。志願条件によっては、母乳育児相談の実地経験は、直接の監視を必要とすることもあります。

志願者は、妊娠前から離乳までの範囲にわたる授乳および母乳育児ケアの提供において幅広い経験を有し、広範な臨床スキルを持っていることが推奨されます。IBCLC 試験では *IBCLC Detailed Content Outline* (IBCLC としての試験内容概要) に記載されている知識の実用性をテストします。

授乳および母乳育児ケアにおける実践が必要です。ラクテーション実施者の観察や模倣はラクテーションに特化した臨地経験としては認められません。

臨地経験には、対面および電話での相談、オンラインでの母乳育児・授乳ケア等が含まれます。

## IBCLC の職業倫理規範の遵守

*IBCLC の専門職行動規範* および関連する手順書は、IBLCE のウェブサイトで公開されています。この目的は、IBCLC の専門的な行動を規定し、一般の人々を保護することです。

## 受験のための志願条件

IBCLC 試験の受験資格を得るには、前述の主要資格要件を満たす 3 つの方法のいずれかを選択することができます。以下の志願条件のうちいずれか 1 つの志願条件の基準を満たす必要

があります。これらの志願条件は、全ての志願者が健康科学のバックグラウンド、最低 90 時間の授乳に特化した教育、そして授乳に関連する臨床経験、および証明による IBCLC の職業行動規範の遵守を確実にするように作られています。これらの 3 つの志願条件は、様々な背景の人が IBCLC としての実践に関連する知識とスキルを得ることを可能にします。更に詳細な情報については、IBLCE ウェブサイトをご確認ください。

## 志願条件 1：認定された保健医療専門家と母乳育児支援カウンセラー

志願条件 1 の IBCLC 受験志願者は、*Recognised Health Professional*（保健医療専門家）として従事している、もしくは *Recognised Breastfeeding Support Counsellor Organisation*（認定された母乳育児支援カウンセラー団体）を通して母乳育児支援を行っていないではありません。*Recognised Breastfeeding Support Counsellor Organisation*（認定された母乳育児支援カウンセラー団体）を通して母乳育児支援を行っている場合、*Health Sciences Education Guide*（健康科学科目教育ガイド）に記載されている 14 科目を修了している必要があります。更に、志願条件 1 にて受験する志願者は次の条件を満たしていなければなりません。

- 出願時からさかのぼって **5 年以内**に母乳育児に関する専門教育を最低 90 時間受けている。
- 出願時からさかのぼって **5 年以内**に適切な監督下における母乳育児相談の現地時間が最低 1000 時間ある。
- 現地実践は、下記を含む適切な監督のもと行わなければなりません。
  - 病院
  - 産院
  - 地域クリニック
  - 授乳ケアクリニック/診療所
  - かかりつけ医の診療所/オフィス
- 現地実践は、*Recognised Breastfeeding Support Counsellor Organisation*（認定された母乳育児支援カウンセラー団体）に登録されている母乳育児サポートカウンセラーによって、下記の基準を満たす現場で行われなければなりません。
  - 母乳育児および授乳管理における包括的な教育が含まれたカウンセラーのための訓練プログラムを提供している
  - 倫理規範もしくは専門家の行動規範を有している
  - カウンセラーのための体系的な指導および適切なレベルのトレーニングを提供している。
  - カウンセラーのための継続教育を提供している。
- 1000 時間の現地実践は、*Recognised Health Professional*（保健医療専門家）および *Recognised Support Counsellor Organisation*（認定された母乳育児支援カウンセラー団体）の母乳育児支援カウンセラーからの**直接的な**指導でなくてよい。
- *IBCLC* の職業倫理規範を遵守する。

## 志願条件 2：公認の授乳に関する学校/大学のプログラム

志願条件2のIBCLC志願者は、健康教育合同認定委員会(CAAHEP)または授乳に関する授業プログラムにおける同等の認定基準を持つ他の認定機関によって認定された、ヒトの授乳および授乳に関する包括的な学術プログラムを修了する必要があります。当該プログラムは、志願者が修了時に認定されなければなりません。

これらの授乳に関する包括的な学術プログラムは、学校/大学単位で行われ、教育的および臨床的要素の両方を含む健康科学教育（事前必須科目か、または学術プログラムの完了前に同時に修了する科目かは問わない）を必要とします。

- 志願条件2による志願者は、授乳に関する学術プログラムを通して、以下を有している必要があります：出願時からさかのぼって5年以内に受けた最低90時間の母乳育児に関する専門教育。
- 出願時からさかのぼって5年以内に受けた最低300時間の**直接監視**下での母乳育児相談の臨地実践。
  - 直接の監視をしているIBCLCは、資格が有効な優良のIBCLCでなければなりません。
- *IBCLC*の職業倫理規範の遵守。

志願条件2のIBCLC受験志願者は、出願時からさかのぼって5年以内に認定された授乳に関する学術プログラムを修了していなければなりません。IBLCEのウェブサイトにて、本志願条件として適格のプログラムに関する最新のリストをご確認ください。これらの特定のプログラムのみが適格となります。志願者は当リストを確認するか、プログラム提供者の認定状況について質問がある場合は、直接連絡を取る必要があります。

### 志願条件3：IBCLC指導者について学ぶコース

志願条件3における指導者は、事前承認され、申請者とIBCLCとの間で関係を構築する必要があります。指導は*Pathway 3 Plan Guide*（志願条件3での受験計画ガイド）に記載されている仕様に従って行わなければならない、指導にあたるIBCLCの認定資格は指導を開始する前にIBLCEによって承認されなければなりません。志願条件3の計画書は、**臨地実践を開始する前に**所定の手続き（手数料がかかります）により、IBLCEによって承認されなければなりません。

*Health Sciences Education*（健康科学科目教育）修了に加え、志願条件3の志願者は以下を完了している必要があります：

- 出願時からさかのぼって**5年以内**に、母乳育児に関する専門教育を最低90時間受講。

- IBCLC 出願時からさかのぼって **5 年以内**に、志願条件 3 プランガイド (Pathway 3 Plan Guide) に記載された母乳育児に関する **直接監視**下での最低 500 時間の臨地実践。
  - 直接の監視をする IBCLC は、認定が有効な優良の認定 IBCLC でなければなりません。
- **IBCLC の職業倫理規範の遵守**。

志願条件 3 プランガイド (Pathway 3 Plan Guide) は、IBLCE ウェブサイトにてご確認ください。

## 受験者のための重要な出版物

IBCLC 試験の受験志願者は、以下の出版物を熟知しているべきです。これらの出版物は、全て IBLCE ウェブサイトにてご確認ください。

- *IBCLC 詳細内容概要*
- *IBCLC の臨床能力*
- *IBCLC の業務範囲*
- *IBLCE の抗議ポリシー*
- *IBCLC の職務行動規範*

## 出願方法

### 志願条件を選ぶ

志願者は自分に適した志願条件を決定したら、本ガイドの巻末にある志願条件チェックリストを用いて志願者条件のすべてを満たしていることを確認します。志願条件の必要条件を満たしていることを証明する書類はすべて慎重に保存しておいてください。監査対象に選ばれた場合は、これらの書類を IBLCE に提出する必要があります。

### オンライン願書の記入

オンラインでの出願は、IBLCE が提供している試験と同じ言語のみ利用可能です。IBLCE ウェブサイトにてご自身の言語を探してください。

### 受験料と支払い

受験料や支払方法に関する詳細は、このガイドの巻末に書いてあります。

## IBCLC 試験の概要

試験は、175 問の設問があります。各設問の正解は 1 つで、誤答に対するペナルティはありませんので全問回答すれば有利となります。試験は 2 つのパートに分かれており、パート 2 では写真を見て答える問題がほとんどです。標準的な IBLCE 試験の試験時間は 4 時間です。試験の言語が母国語でない受験者には、30 分の延長時間が付与されます。延長時間は、筆記試験において付与されます。筆記試験では、試験の冊子、写真冊子、回答シートの使用が必要ですが、コンピュータでの試験システムは、より簡素化されています。IBCLC 試験は、*IBCLC 詳細内容概要*に記載されている知識分野に関連する内容で構成されています。

## 試験場所

IBLCE は、世界中でコンピュータ・ベース・テスト (CBT) を用意しています。地理的に CBT が利用できない国、もしくは実証された理由により個人的な配慮が必要な場合は、筆記試験が行われます。試験会場は、出願前に確認することができますが、IBLCE のテスト会場リストは定期的に変更がありますのでご注意ください。試験会場の利用可否は、出願および試験の予約を取りに行く時点が最も正確です。予約が可能な際は、IBLCE よりメールにてご連絡します。この通知を受け取ったら、すぐに予約の調整を行うことで、選択できる試験会場を増やすことができます。

## 試験の機密性保護およびインシデント評価に関する規則

IBCLC 試験は、試験および IBCLC 認定プログラムの一貫性を保つために、保護された環境で実施されます。IBLCE の試験管理は、安全性および機密保護に関する規則を遵守して行います。

IBLCE は、試験実施中および試験後にインシデントを評価し、必要に応じてフォローアップを行い、インシデントの性質を判断し、適切な解決策を検討します。

## 個人的配慮が必要な方へ

IBLCE は、健康上の問題や障害のある志願者に対し、志願者と連携して試験中に正当な便宜を図ります。IBCLC の試験願書は志願者に試験中に個人的配慮を要求する理由を開示するよう求めています。志願者が必要と回答した場合、IBLCE は志願者に連絡を取り、申請書と第三者機関による証明書類の提出をお願いすることになります。証明書類とは、個人的配慮を必要とする健康上の理由を直接的に示すものでなければなりません。

正当な便宜を図るための十分な時間を確保するため、受験者は出願時に個人的配慮の要

望を IBLCE に通知しなければなりません。願書提出後に問題が起きた場合、志願者はできるだけ早く個人的配慮の要求を IBLCE に通知しなくてはなりません。

## 妊娠中の志願者へ

受験の妨げになる可能性がある健康上の困難を生じた志願者は、IBLCE にできるだけ早く連絡しなくてはなりません。健康上の問題が生じた場合、受験者は受験の取り消しもしくは出願の取り下げが必要になることがあります。

受験の取り消し/取り下げには、金銭的影響が出ます。IBLCE オフィススタッフは志願者が説明を受けた上での決定ができるよう取り計らいます。

## 試験中の授乳時間

ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会 (IBLCE) は、授乳と母乳育児の支援への貢献を目指す団体です。そのため、IBLCE が、試験のセキュリティを維持した上で、母乳育児中の志願者に対し授乳・搾乳をすることを許可するのは妥当なことです。こうした許可は IBLCE 試験のセキュリティ条件に合致すると同時に受験者が受験時間中に授乳できる合理的な解決策を見出す必要があります。そのため、授乳・搾乳休憩を試験の第一部終了後に行うことを許可していますが、試験時間の延長は認められません。更に、授乳・搾乳をする者を含め、試験の第一部が終了し退室した受験者は、試験に戻ることは認められません。

試験中の授乳休憩を希望する志願者は、詳細について IBLCE ウェブサイトの「*Procedures for Breastfeeding Breaks During Exam Administration*」をお読みください。

## 母国語でない言語

IBCLC 試験は様々な言語に翻訳されています。IBCLC 申請書に記載されているように、母国語が試験が母国語に翻訳されていない志願者および認定者には IBLCE は試験時間を 30 分延長します。

## 機密保持ポリシー

### 1. 機密保持の遵守

IBLCE は、申請者、志願者、認定者、そして試験作成の経過および試験内容に関する、機密情報や所有権情報の保護を徹底しています。IBLCE は、申請者、志願者、認定者の

機密情報とその個人からの書面での許可を受けた場合、または、法律により必要とされない限り、開示することはありません。

## 2. 試験結果

個々の試験結果は、機密情報とみなされます。前もって、同意文書が提示されない限り、試験の得点は個々の受験者のみに通知されます。結果は電話やファックスでは通知されません。認定試験や再認定試験の申請書に提供された個人情報、機密情報とみなされます。

## 3. 申請状況

個々の申請状況は、機密情報とみなされます。IBLCE は、個人が認定試験に申請したか、試験を受けたか等に関する情報は一切開示しません。

このポリシーの資格証明のセクションに述べられているように、現在の認定状況は、公開され、証明されています。

## 4. 資格証明

認定者の名前は、機密情報とはみなされておらず、IBLCE によって公開されることもあります。公開情報には、名前、市町村、都道府県、国、認定地位が含まれる場合があります。

オンラインの認定者の登録簿は、一般に公開されます。IBLCE は事前に同意文書を認定者から受け取っていることを条件として、雇用者は証明書を受けることもあります。

## 5. 非同定データ

ヒトの授乳および母乳育児に関する分野の研究を支援・促進するために、IBLCE は IBLCE 研究委員会の承認を得て、集計および非同定データを提供することがあります。これらの目的や目標を達成するために、IBLCE は非同定データを利用する権利を有します。非同定データには、パフォーマンス、テスト、研究実施の管理戦略、そして目標を評価するための試験結果を含みますが、これに限りません。IBLCE は、承認済みのアンケートや質問形式の調査書を団体の所属メンバーに配布し、任意で回答をお願いすることがあります。

## 6. 志願者

IBLCE 試験の志願者は、試験の実施前、実施中および実施後に関わらずいかなる時であ

っても、IBLCE 試験の設問または内容に関する情報をいかなる人や団体にも伝えることを禁じられています。この禁止事項を遵守できない場合、遵守していないことが疑われる情報が報告された場合、もしくは本人もしくは他者による試験に関する疑わしい行為が発覚した場合は、IBLCE のポリシーおよび手順、もしくは刑事訴追を含む法的措置に従って、志願者のスコアが取り下げられるか、認定が取り下げられます。

## 初回受験者および再認定監査ポリシー

IBLCE は、初回受験者および再認定受験者の中から監査対象を選択します。この監査は、標準化され、無作為抽出された上で行われます。監査に選ばれた場合、受験志願者もしくは認定者は迅速かつ正確に要求された全ての情報を提出しなければなりません。これができなければ、Code of Professional Conduct for IBCLCs (IBCLC の職業倫理規範) に基づき、IBCLC 試験受験の延期または却下、および/または懲戒処分、および/または認定再申請の機会の停止または取消しの措置が取られる可能性があります。

上記に挙げられた無作為抽出され標準化された監査に加え、IBLCE は明確にいかなる受験志願者もしくは再認定者に教育、雇用、コース学習の証明、もしくはいかなる初回受験資格もしくは再認定必要条件の証拠を迅速かつ正確に、すべて提出するよう要求する権利もさらに保持しています。これができない場合もまた、Code of Professional Conduct for IBCLCs (IBCLC の職業倫理規範) に基づき IBCLC 試験の延期または却下、および/または懲戒処分、および/または証明書の再申請の機会の停止または取り消しの措置が取られる可能性があります。

## 受験資格についての注意事項

すべての要件を満たした受験志願者には、電子メールにて受験資格があることが通知されます。この受験資格通知には、試験会場と試験当日の手続きに関する情報が含まれています。受験資格の要件を満たしていない受験志願者には、その旨電子メールで通知され、支払われた受験料の一部が払い戻しの対象となります。

## 受験資格および再認定決定抗議ポリシー

IBLCE は受験志願者より抗議を受けた場合、認定や再認定に関する不利な決定について調査します。不利な決定には、次のようなものが想定されます。1.) IBLCE が認定もしくは再認定基準を正しく適用しなかった、もしくは 2.) 結果に影響する事実上の誤りがあった。締め切り日の遅延に関する抗議は、実証された特別な状況の場合に限ります。

抗議を希望する認定者・申請者は、抗議申請書（Appeals Form）を提出しなければなりません。本手続きに関する必要条件是、下記に記載されています。

試験の受験資格を満たさない申請者、CERPs による再認定資格を満たさない認定者には、IBLCE より通知します。**抗議申請書は、不適格の通知より 30 日以内に IBLCE に提出しなければなりません。**

抗議内容は、抗議申請書と共に提出された情報をもとに IBLCE 抗議委員会により評価されます。**資格認定者および申請者は、抗議文書に署名することで、IBLCE 抗議委員会の判断が最終決定事項であることを承諾することになります。**

## 受験取り下げ/キャンセル

IBCLC®試験の受験取り下げや、IBCLC 資格試験の予約をキャンセルする場合は、一部の払い戻しが可能な規定の締め切りまでに、文書にて IBLCE に知らせる必要があります。規定の締め切り日を過ぎて IBLCE の受験の取り下げやキャンセルを行なう場合は、受験料の一部払い戻しはできません。特別な事情により、受験料を次回に繰り越したい場合は、その特別な事情を文書にて提出している場合に限り考慮されます。詳細は、IBLCE ウェブサイトに掲載されている、*IBCLC Examination Withdrawal/Cancellation Policy*（IBLCE 資格試験受験取り下げ/キャンセル時のポリシー）をご確認ください。

## 受験再予約ポリシー

試験の予約を再調整しなければならない志願者は、IBLCE ウェブサイトに記載されている締め切り日までに行うことが推奨されます。これらの日程を過ぎると、予約の再調整ができなくなります。特別な状況に限り、再調整が認められます。これらの日程を過ぎた後に予約を再調整する必要がある場合は、IBLCE に報告しなければなりません。再予約に関する決定は、IBLCE が独自で行います。

再予約が完了した場合は、その旨 E メールにてご連絡いたします。テスト会場に来場しなかった場合は、受験料の返金はありません。再予約が可能な試験は、すでに受理されている試験のみです。

## 受験会場への入場の手順および志願者の行動

試験会場に入場するために、志願者は 2 種類の身分証明書が必要です。

第一の身分証明書には志願者の名前、現在の写真とサインが、第二の身分証明書には志願者の名前とサイン、もしくは志願者の名前と現在の写真がなくてはなりません。

第一の身分証明書は、政府によって発行された ID のうち次のいずれかでなければなりません。

- 運転免許証(写真付き)
- 自治体発行の身分証明書(写真付き)
- パスポート(写真付き)
- 軍事身分証明書(写真付き)
- グリーンカード（永住権証明書）かビザ(写真付き)

第二の身分証明書には、志願者の名前とサイン、もしくは名前と現在の写真がなくてはなりません。次のようなものから一つ持参してください。

- クレジットカード(署名付き)
- 社会保障書(署名付き)
- 社員証/学生証(署名付き)

**注意事項：**これら二種類の身分証明書を持っていない志願者の場合は、試験日より前に IBLCE に連絡し、どんな選択をするか相談しなくてはなりません。身分証明書に記載されている名前は、IBLCE のファイルに記載されているものと一致しなければなりません。名前の更新・変更が必要な志願者は、IBLCE に連絡しなくてはなりません。更新・変更は受験予約時間の 72 時間前まで可能です。しかし、試験会場に入場する時点で一致している必要があります。

受験者は、十分な時間の余裕をもって試験会場に到着しなくてはなりません。必要な受付手順を済ませるのに適当な時間を確保するために、試験会場には試験開始の 30 分前には到着してください。試験開始後 15 分以降に到着した志願者は入場を拒否され、試験料は返金されません。

同様に、試験当日の受付登録ができなかった受験者も受験料の払い戻しに対するすべての権利を失います。期日までに予約を取らなかった場合、受験料の払い戻しはされません。

各試験会場は、1 人または複数の試験管理者/IBLCE 試験監督官によって監督、監視されます。受験者は、試験管理者/IBLCE 試験監督官がアナウンスする規則に従ってください。この規則は、可能な限り気を散らさないよう試験が実施され、すべての受験者が公平に扱われることを保証するためのものです。試験管理者/IBLCE 試験監督官は、試験中に財布など身の回りのものを置く場所を指定します。試験中、試験管理者/IBLCE 試験監督官は不正行為やその他の不適切な行動の気配がないか試験会場内を監視します。

試験中および休憩中に試験会場を離れることはできません。試験会場を離れた場合、試験か

らの退場を命じられます。

試験中および休憩中に、携帯電話などの電子機器の使用は許可されません。試験中や休憩時間中にこのような機器を所持かつ/または使用を発見された受験者は、退出を命じられ試験は採点されません。携帯電話やその他電子機器を試験会場に持参している受験者は、それらの電源を切らなくてはなりません（サイレント/消音モードに設定するだけでは不十分です）。また携帯電話は、試験管理者/IBLCE 試験監督官が指定した場所に置いてください。

[注意：試験管理者/IBLCE 試験監督官と IBLCE のどちらも志願者個人の荷物に責任は持ちません。]

試験中に他の受験者と話すことは許されていません。試験の実施に関する質問は、オリエンテーション中に試験管理者/IBLCE 試験監督官が返答します。試験内容に関する質問は許可されません。試験管理者/IBLCE 試験監督官は、試験問題の解釈や説明を提供することは許されていません。不正行為は容認されません。不正行為が発見された場合、IBLCE の方針および手続、もしくは刑事訴追を含む法的措置に従って、志願者のスコアが取り消されるか、または認定が取り消されます。

さらに、このガイドの **Confidentiality Policy**（機密保持ポリシー）に記載されている通り、試験終了後にいかなる試験問題に関して誰とも話し合ってはなりません。たとえ同じく受験した人とも話合ってはなりません。

試験はコンピューター、または筆記試験のいずれかで多肢択一で行われます。コンピューターでの試験では、志願者は提供されるコンピューターで試験問題を見て解答します。筆記試験では、試験問題は小冊子（写真の小冊子と共に）で配られ、解答は鉛筆を使い解答用紙に記載しなくてはなりません。

## 試験結果の通知

公式な試験結果は試験後 2~3 か月で、受験者宛てに郵送されます。試験に合格した受験者には、試験のスコアレポートとともに IBCLC の認定書と身分証明書もお送りします。試験の機密保持の理由から、IBLCE は試験に関する質問は受け付けていません。

## 手作業による採点の要求に関するポリシー

IBLCEの筆記試験を受けた場合、採点は解答用紙の光学スキャンで行われます。コンピューター試験の場合、志願者の試験は IBLCE から提供された正答キーで自動採点されます。試験が正しく採点されていないと思う受験者は、手作業によるスコアの確認、あるいはコンピューター試験結果の再採点を要求することができます。

全ての手作業による採点の要求は、試験結果の公表から **30** 日以内に提出されなければなりません。手作業による採点の要求申請書は、IBLCEのウェブサイトのコンタクトページから申請書を請求してください。手作業による採点要求には、費用がかかります。この費用は、受験者の採点結果に誤りがあつたと認定された場合、返金されます。

## 試験結果の抗議

IBLCE は試験志願者から申し出があれば、認定についての不利な決定について調査をし直します。認定に関する不利な決定は、次のようなものが想定されます。(1) 試験運営にふさわしくないことがあつたという主張 (2) 試験を受けるにあたり大きな妨げとなるような試験環境等の異常事態。次にあげるような理由の抗議は受け付けません。(1) 合格点の決定、(2) 試験もしくは他の判断基準もしくは個々の設問についての問題、もしくは(3) 試験内容の有効性。

試験結果に関する抗議については、できるだけ具体的に抗議の根拠を説明してください。

当申請を開始するためには、試験結果抗議申請書を提出する必要があります。**全ての試験結果抗議申請書は、試験結果が伝達された日より 30 日以内に提出されなければなりません。**

抗議の審査に当たっては、抗議申請書とともに提出された書類および関連する追加情報を合わせて精査します。**抗議申請書に署名することで、IBLCE 抗議委員会の判断が最終決定事項であることを承諾することになります。**

抗議が受け入れられた際に受けられる措置は、適切な通知をもって行われる将来的な試験への受験料の繰り越しのみです。

## 再受験ポリシー

不合格者が IBCLC 認定試験を再受験することができる回数に制限はありません。再受験を検討している志願者は、スコアレポートを注意深く見直し、得点が低かった分野の学習を完了させるべきです。再び試験を受ける資格を得るためには、志願者は、最新の資格要件を満たしていなければならず、受験する年度の願書を提出し、関連する受験料を支払わなければな

りません。

再受験ポリシーの意図は、志願者が再受験の前に苦手な分野を克服するきっかけとなることです。

もし IBCLC 試験に合格しなかった場合、次の 3 回までの試験において、または合格しなかった後の 3 年までの試験において、50%の受験料割引を受け取る資格があります。初回受験者および再認定試験受験者のどちらも割引対象となります。

## IBCLC 登録簿

IBLCE は、最新の IBCLC の名前を公表する権利を有します。登記は IBLCE ウェブサイトに ご覧いただけます。

## 反差別方針

IBLCEは、その行動や活動において、人種、肌の色、宗教、宗派、性別、性同一性、性的指向、性、民族性、年齢、出身国、祖先、政治的志向、障害の有無、結婚の状況、地理的な場所、社会経済的状態での差別、およびアメリカ合衆国もしくはバージニア州コモンウェルスの法律で禁じられている基準に基づいて差別を行うことはありません。IBLCEは、IBLCEコミュニティのすべてのメンバーだけでなく、IBLCEコミュニティへのアクセスを求めるすべての人にとって、包括的で歓迎的な環境を提供することに努めています。

## IBCLC 商標の使用方針

ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会 (IBLCE) は特定の名称、トレードマーク、および IBLCE と国際認定ラクテーション・コンサルタントと IBCLC の認定ロゴ (以下 "マーク"とする) を含むロゴを所有しています。IBLCE 志願要件を満たし、IBLCE の試験に合格し、また IBLCE 認定を維持している者だけが、IBCLC 認定マークを使用することができます。マークの使用は、*IBCLC Trademark Use Policy* (IBCLC トレードマーク使用ポリシー) およびその条件条項に従った場合に限りです。条件条項は IBLCE ウェブサイトで確認できます。

## 志願条件チェックリスト (無作為に監査対象に選ばれた場合)

以下のチェックリストは、監査対象に選ばれた際に必要となる条件および書類の概要です。

### 志願条件 1: 認定された保健医療専門家と母乳育児支援カウンセラー

- 健康科学科目教育：14 科目すべてを修了している
  - 認定された保健医療専門職の教育を受けた者は、14 科目修了の証拠として免許証、登録証、成績証明書、卒業証明証書もしくは学位のコピーを提出してください。
  - 認定された保健医療専門家ではない者は、14 科目修了の証拠として修了証明書と成績証明書のコピーを提出してください。
- 母乳育児に関する専門教育：90 時間の教育時間を修了している
  - 母乳育児専門教育の修了証明書もしくは成績証明書のコピーを必要とされる 90 時間の専門教育修了の証拠として提出してください。
- 母乳育児相談の現地経験：最低 1000 時間の現地経験がある
  - 時間数及び期間、および現地経験を行った場所に関する情報を提示してください。

## 志願条件 2：公認の学校/大学のプログラム

- 健康科学科目教育：14 科目すべてを修了している
  - 認定された保健医療専門職の教育を受けた者は、14 科目修了の証拠として免許証、登録証、成績証明書、卒業証明証書もしくは学位のコピーを提出してください。
  - 認定された保健医療専門家ではない者は、14 科目修了の証拠として修了証明書と証明書のコピーを提出してください。
- 以下のカリキュラムを集積した母乳に関する学校/大学のプログラム（IBLCE ウェブサイトにて志願条件 2 の認定プログラムとしてリストに記載されている）を卒業している：
  - 90 時間の母乳分泌の専門的教育
  - 300 時間の直接監視下での母乳育児相談の現地時間
- 成績証明書、修了証明書や母乳に関する学校/大学のプログラムディレクターからの書状のコピーを学校/大学のプログラム修了の証拠として提出してください。

## 志願条件 3：IBCLC 指導者について学ぶコース

- IBLCE に認可された志願条件 3 のプランのファイルがある
- 健康科学科目教育：14 科目すべてを修了している
  - 認定された保健医療専門職の教育を受けた者は、14 科目修了の証拠として免許証、登録証、成績証明書、卒業証明証書もしくは学位のコピーを提出してください。
  - 認定された保健医療専門家ではない者は、14 科目修了の証拠として修了証明書と成績証明書のコピーを提出してください。
- 母乳育児に関する専門教育：90 時間の教育時間を修了している
  - 母乳育児専門教育の修了証明書もしくは成績証明書のコピーを必要とされる 90 時間の専門教育修了の証拠として提出してください。

- 母乳育児専門の現地経験：IBLCE に認可された志願条件 3 のプランで概説されるように直接監視下での母乳育児専門の現地時間が最低 500 時間ある
  - 時間数及び期間、および現地経験を行った場所に関する情報を提示してください。

## 2019年IBLCE認定受験料一覧表

### 2019年IBLCE初回認定に関する地域割（地域1）

地域 1	アンドラ、アルバ、オーストラリア、オーストリア、バハマ国、バーレーン、ベルギー、バミューダ、ブルネイ・ダルサラーム、カナダ、ケイマン諸島、クロアチア、キプロス、チェコ共和国、デンマーク、エストニア、フォークランド諸島、フィンランド、フランス、ドイツ、ジブラルタル、ギリシャ、グリーンランド、グアドループ、グアム、香港、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イスラエル、イタリア、日本、カザフスタン、クウェート、ラトビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルク、マカオ、マレーシア、マルタ、マルティニーク、モナコ、オランダ、ニューカレドニア、ニュージーランド、ノルウェー、オマーン、ポーランド、ポルトガル、プエルトリコ、カタール、レユニオン、ルーマニア、ロシア連邦、サンマリノ、サウジアラビア、セイシェル、シンガポール、スロバキア、スロベニア、韓国、スペイン、セントクリストファー・ネイビス連邦、セント・マーチン島、スウェーデン、スイス、台湾、トリニダード・トバゴ、トルコ、アラブ首長国連邦、イギリス、アメリカ合衆国、ヴァージン諸島（英国・米国）
---------	---

\*ご自身の国がリストに入っていない場合は、[iblce@iblce.org](mailto:iblce@iblce.org)にてIBLCEにお問い合わせください。

通貨	初回受験料	再受験料	志願条件3申請費用	手作業による採点費用	規定の締め切り日に間に合わなかったために不適格となった初回受験者への返金
米ドル	\$660	\$330	\$100	\$100	\$330

申請締め切り日に関する最新の情報は、[iblce.org](http://iblce.org)にてご確認ください。

オンライン試験の申請システムは米ドルでの支払いとなります。料金はその日の為替レートに基づきます。本システムは、クレジットカードおよびデビットカードをご使用いただけます。

## 2019年 IBLCE 初回認定に関する地域割（地域2）

地域 2	アルバニア、アルジェリア、アメリカ領サモア、アンギラ、アンティグア・バーブーダ、アルゼンチン、アルメニア、アゼルバイジャン、バルバドス、ベラルーシ、ベリーズ、ブータン、ボリビア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ボツワナ、ブラジル、ブルガリア、チリ、中国、コロンビア、クック諸島、コスタリカ、キュラソー島、ドミニカ、ドミニカ共和国、エクアドル、エジプト、エルサルバドル、赤道ギニア共和国、フィジー、フランス領ポリネシア、ガボン、ジョージア、グレナダ、グアテマラ、ガイアナ共和国、インド、インドネシア、イラク、ジャマイカ、ヨルダン、コソボ、ラオス、レバノン、リビア、マケドニア、モルディブ共和国、モーリシャス、メキシコ、モンゴル、モンテネグロ、モントセラト、モロッコ、ナミビア、北マリアナ諸島、パラオ、パナマ、パラグアイ、ペルー、フィリピン、セルビア、南アフリカ共和国、スリランカ、セントルシア、セント・マーチン島、セント・ビンセントおよびグレナディーン諸島、スリナム、スワジランド、タイ、東ティモール民主共和国、チュニジア、トルクメニスタン、ウクライナ、ウルグアイ、ベネズエラ
---------	--

\*ご自身の国がリストに入っていない場合は、[iblce@iblce.org](mailto:iblce@iblce.org)にて IBLCE にお問い合わせください。

通貨	初回 受験料	再受験費用	志願条件3 計画書の 提出費用	手作業に よる 採点費用	規定の締め切り日 に間に合わなかつ たために 不適格となった初回 受験者への返金
米ドル	\$400	\$200	\$75	\$90	\$200

申請締め切り日に関する最新の情報は、[iblce.org](http://iblce.org)にてご確認ください。

オンライン試験の申請システムは米ドルでの支払いとなります。料金はその日の為替レートに基づきます。本システムは、クレジットカードおよびデビットカードをご使用いただけます。

## 2019年 IBLCE 初回認定に関する地域割（地域3）

地域 3	アフガニスタン、アンゴラ、バングラデシュ、ベナン、ブルキナファソ、ブルンジ、カンボジア、カメルーン、カーボベルデ、中央アフリカ共和国、チャド、コモロ、コートジボワール、コンゴ民主共和国、ジブチ、エリトリア、エチオピア、ミクロネシア連邦、ガンビア、ガーナ、ギニア、ギニアビサウ、ハイチ、ホンジュラス、ケニア、キリバス、キルギス、レソト、リベリア、マダガスカル、マラウイ、マリ、マーシャル諸島、モーリターニア、モルドバ、モザンビーク、ミャンマー(ビルマ)、ネパール、ニカラグア、ニジェール、ナイジェリア、北朝鮮、パキスタン、パプアニューギニア、コンゴ共和国、ルワンダ、サモア、セネガル、シエラレオネ、ソロモン諸島、ソマリア、南スーダン、スーダン、シリア、タジキスタン、トーゴ、トンガ、ツバル、ウガンダ、タンザニア、ウズベキスタン、バヌアツ、ベトナム、西サハラ、イエメン、ザンビア、ジンバブエ
---------	---

\*ご自身の国がリストに入っていない場合は、[iblce@iblce.org](mailto:iblce@iblce.org)にて IBLCE にお問い合わせください。


通貨	初回 受験料	再受 験料	志願条件3 計画書提出費 用	手作業に よる 採点費用		規定の締め切り日 間に合わなかったた めに 不適格となった初回 受験者への返金
米ドル	\$255	\$127.50	\$50	\$70		\$127.50


申請締め切り日に関する最新の情報は、[iblce.org](http://iblce.org)にてご確認ください。


オンライン試験の申請システムは米ドルでの支払いとなります。料金はその日の為替レートに基づきます。本システムは、クレジットカードおよびデビットカードをご使用いただけます。


# IBCLC Detailed Content Outline (IBCLC の試験内容概要)

施行: 2016年1月

	ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会 (IBLCE) 国際認定ラクテーション・コンサルタント® (IBCLC®) 詳細内容概要	項目 数
<b>I. 成長と栄養</b>		<b>26</b>
<b>A. 乳児</b>		
1. 月齢別哺乳行動 2. 食物不耐性/アレルギー 3. 乳児解剖学と解剖学的問題や口腔学的問題 4. 補完食の導入 5. 低出生体重 6. 母乳銀行—公式と非公式 7. 正常な乳児行動 8. 栄養所要量—早産児 9. 早産児の発達と成長 10. 肌の色調、筋緊張、反射 11. 正期産児の発達と成長 12. 在胎週数を修正した WHO 成長曲線		
<b>B. 母体</b>		
1. 乳房の発達と成長 2. 乳房の手術 3. 母乳の成分 4. 母体の解剖学的問題 5. 母体の栄養状態 6. 乳頭の構造とバリエーション		
<b>II. 生理学と内分泌学</b>		<b>24</b>
1. 糖尿病 2. 不妊の問題 3. 母体の代謝内分泌疾患(例: 甲状腺、多嚢胞性卵巣症候群) 4. 母体の自己免疫疾患 5. 多胎 6. 新生児の低血糖 7. 妊娠と母乳育児—タンデム授乳(兄弟同時授乳) 8. 母乳復帰 9. 排便と排尿		
<b>III. 病理学</b>		<b>31</b>
<b>A. 乳児</b>		
1. アレルギー 2. 舌小帯短縮症 3. 口唇口蓋裂 4. 先天性奇形(例: 消化管、心臓)		

	ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会 (IBLCE) 国際認定ラクテーション・コンサルタント® (IBCLC®) 詳細内容概要	項目 数
	5. 胃食道逆流症(GERD)、逆流 6. 高ビリルビン血症 7. 乳児急性疾患(細菌性、ウイルス性、真菌性、全身性) 8. 乳児の神経学的障害 9. 在胎不当過小(SGA)、在胎不当過大(LGA)	
	<b>B. 母体</b>	
	1. 膿瘍 2. 射乳反射の機能障害 3. 母体の急性疾患(細菌性、ウイルス性、真菌性、全身性) 4. 母体の慢性疾患 5. 母体の障害(身体的、神経学的) 6. 乳腺炎 7. 母乳の供給(不足もしくは過剰) 8. 乳頭と乳房の状態 9. 乳頭痛と乳頭損傷 10. 産後の異常出血 11. 子癇前症/妊娠高血圧症候群	
	<b>IV. 薬理学と毒物学</b>	<b>13</b>
	1. 酒とタバコ 2. 避妊法 3. 薬物乱用 4. 乳汁分泌促進薬 5. ジェルによる保護/乳頭クリーム 6. 薬物(処方薬、市販薬、診断と治療の手順) 7. 薬草	
	<b>V. 心理学、社会学、人類学</b>	<b>21</b>
	1. 親になること 2. お産の慣習 3. 授乳中の食事、母乳分泌に影響する食物 4. 仕事-職場復帰 5. 家族のライフスタイル 6. 支援ネットワークの見つけ方 7. 母親のメンタルヘルス 8. 母親の心理的問題/認知の問題 9. 母親と赤ちゃんとの関係 10. 安全な睡眠 11. 卒乳 12. 文化的適応力	

	ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会 (IBLCE) 国際認定ラクテーション・コンサルタント® (IBCLC®) 詳細内容概要	項目数
<b>VI. 技術</b>		<b>25</b>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 効果的な乳汁移行(医学的適応のある補足を含む)</li> <li>2. 生後 1 時間</li> <li>3. 吸着 (吸い付き方)</li> <li>4. 供給量の管理</li> <li>5. 搾 乳</li> <li>6. 授乳時の姿勢</li> <li>7. 哺乳拒否、哺乳びん拒否</li> <li>8. 肌と肌とのふれあい(カンガルーケア)</li> <li>9. 哺乳量測定</li> </ol>		
<b>VII. 臨床の技術</b>		<b>35</b>
<b>A. 補助器具とその使用技術</b>		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授乳用デバイス(例: チューブ、カップ、シリンジ、人工乳首)</li> <li>2. 搾母乳の保存と取り扱い方</li> <li>3. 乳頭保護器(例: ニップルシールド、乳頭吸引器)</li> <li>4. おしゃぶり</li> <li>5. 搾乳器</li> <li>6. 体重計</li> <li>7. コミュニケーション スキル</li> <li>8. ウェブサイト</li> </ol>		
<b>B. 教育とコミュニケーション</b>		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 積極的傾聴</li> <li>2. 予備的ガイダンス</li> <li>3. ケア計画の作成と共有</li> <li>4. 文書の作成</li> <li>5. 母親と家族の教育</li> <li>6. 専門家、ピアサポーター、学生の教育</li> <li>7. 授乳期間の延長</li> <li>8. 精神的サポート</li> <li>9. エンパワーメント</li> <li>10. 集団サポート</li> </ol>		
<b>C. 倫理的および法的問題</b>		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公共の場での授乳</li> <li>2. 臨床能力</li> <li>3. 職務行動規範</li> <li>4. 守秘義務の原則</li> <li>5. WHO コード – 啓発と政策</li> </ol>		

 <p>ラクテーション・コンサルタンツ資格試験国際評議会 (IBLCE) 国際認定ラクテーション・コンサルタント® (IBCLC®) 詳細内容概要</p>	項目数
<b>D. 研究</b>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実践への研究の応用</li> <li>2. 研究結果の評価と解釈</li> <li>3. 政策やプロトコルの作成にむけた研究の使用</li> </ol>	
<b>E. 公衆衛生と支援運動</b>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 赤ちゃんにやさしい病院運動の啓発</li> <li>2. 母乳代用品のマーケティングに関する国際規準(WHO コード)順守の啓発</li> <li>3. 保健医療制度内におけるお母さんと赤ちゃんのためのアドボカシー</li> <li>4. 母乳育児に関する政策の作成</li> </ol>	
<b>合計項目数</b>	<b>175</b>

約半分の項目に画像が含まれ、午後の部に実施されます。画像を含まない項目は午前の部に実施されます。試験問題は、実践分析結果のデータをもとに作成され、出題内容はケア計画の作成に関連する以下の内容を含みます：

1. アセスメント
2. 計画立案
3. 文書作成
4. 評価
5. 母親の目標設定を支援
6. 問診
7. 他の医療機関と提携

一般的な項目を問う問題を除いて試験問題は以下のガイドラインに沿い、期間月齢区分に応じて出題されます。

期間月齢区分	目標出題数*
1. 出産前(妊娠中)	8
2. 陣痛(妊娠中)／出産 - 周産期	9
3. 早産	12
4. 生後0～2日	21
5. 生後3～14日	21
6. 生後15～28	20
7. 生後1～3か月	12
8. 生後4～6か月	12
9. 生後7～12か月	5
10. 生後12か月以上	5
11. 一般項目(妊娠前を含む)	50
<b>合計</b>	<b>175</b>

\*各々の項目の目標出題数は目安であり多少前後します。